

《どうでもいい話、その 516》

どうでもよくない皆様へ

こんにちは！

食事をしたあと“つま楊枝”を使うのが常となりました。歯と歯のスキマは年ごとに拡がりつつあり、食べ物がはさまる場所と物体は決まっています、定例のところに定例のモノがはさまります。定例の場所は、前中央から右下3番目と4番目の間、右下奥の一番後方と2番目の間と3番目の間と、なぜか右下に集中しています。そして定例のモノはニラとかネギのスジ野菜です。手前は比較的簡単に追っ払えますが、奥へいくほど手ごわいものです。楊枝を突っ込み易い歯の外側から攻めると敵は奥へと逃げ、内側から捕らえようと口を大きく開けて上目づかいになって、もがきながら戦います。しかし慣れてきて容易に捕まえられるようになると、敵もさるもの、手を変え品を変え巧妙な作戦に打って出ます。最近スジ野菜とスジ肉の合同大部隊で挑んできました。それに対しなんとか歯を食いしばってガンバっていますが、歯が立ちません。そのうえ喋ると奥歯にモノがはさまった言い方になってしまいます。

岩波より

* 以前、吉本興業が少女歌劇団を立ち上げ、孫がこの秋に歌劇団デビューすると報告しましたが、吉本興業のゴタゴタが全て片付いておらず、タイミングが悪いと判断したのでしょう。来春に延期されました。

《どうでもいい話、その 517》

どうでもよくない皆様へ

こんにちは！

少し前までクーラーだったのにもうコタツを出しました。最近の暖房器具は、セントラルヒーティング、床暖、ファンヒーターなど多彩になってきていますが、我が家では、エアコン暖房の他コタツを出します。居間にこれがないと どうも落ち着きません。その昔、ニッポンの冬はコタツが代表していました。その他火鉢なんてものもありましたが、これはまあ、コタツ補佐と言ったようなコタツの部下でした。家庭には、厨房課、家具課、衣服課などいろいろな課がありますが、コタツは、暖房課の課長として補佐の火鉢を従えてその重責を果たしていました。ところが、時代の変遷とともに、コタツはいつのまにかその他大勢のヒラになりさがってしまい、火鉢などはどこかに出向を命ぜられて、もはやその消息すら分かりません。別に、パワハラとかセクハラなどした覚えはないのに、40歳代のエアコン女ボスと、床暖など30歳代の男3人からイジメられ、すみっこへ追いやられてしまいました。

岩波より